

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ!~>

さすが ほおの木っ子 !! ~一人一人がよさを発揮~

今日で81日間の2学期が終了しました。

8月25日の2学期始業式で、「本物したいこと」ということで、①「めあて」をもってこつこつと。②自分から先に元気な「あいさつ」 ③大きな声で「返事」は「はい」の3つのことを子どもたちに話しました。

そして、今日までの81日間の学校生活の中で、374名の児童一人一人が、いろいろな場面で、がんばりを見せ、大きく成長してきました。その具体的な内容は、本日配付したPTA会報「ほおの木」第222号やこれまでの学年だより、ホームページ等でお知らせしてきたとおりです。また、本日お渡しした通知票に、お子さんのがんばりや成長の様子が具体的に書いてあります。水曜日に実施している全校朝の会では、毎回数多くの賞状の伝達をしてきました。運動面、文化面の両面で、ほおの木っ子たちは、その個性と実力を遺憾なく発揮してきました。拍手!



初等教育である小学校は、将来自立した人間として生きていくための「基礎」を身につけていくべき時期です。学習面はもちろん、人との関わり方や規範意識、たくましい体と心をつくること、自分を律すること等、自分の個性を発揮しつつ、社会の中でしなやかに生きていけるそうした力と態度を、優しさと厳しさをもってしっかり育てあげたいと考えています。

各学年の実態や発達段階に応じた指導を今後も進めていきます。ご理解とご協力を切にお願いいたします。(拝)

「お手伝い」ではなく、「仕事」を・・・



「子どもの時に、親の手伝いをしたことのない人間は、採用してはならない」と決めている会社があるということを、ある記事で読んだことがあります。国の調査でも、お手伝いをする子どもは、とても正義感や道徳心が強く、いろいろな問題を解決する能力も高いという結果が出たそうです。

それは別として、家族の一員として、子どものできることを、当然しなければならないことがあります。それは、お手伝いとかではなく、家族の中での「仕事」として責任をもってやるべきものとして取り組ませたいものです。すでに、そのようにされているご家庭が多いと思いますが、改めてこの冬休みに、家族の一員として何をするか考えさせ、実行させてみてはいかがでしょうか。そして、物ではなく、心からの言葉で大いにほめてあげてください。

事故なく、けがなく、楽しい冬休みに

- 積雪に伴う事故に遭わないように。
→ 軒下の落雪、川や池、側溝への転落などに遭わないよう、危険な場所には近づかないように。
- 交通事故に遭わないように。
→ 道幅が狭くなった道路の歩行、凍結して滑りやすくなった道路の歩行に十分気をつける。
- インフルエンザ、感染性胃腸炎等に罹らないように。
→ 「こまめなうがい・手洗い」+「栄養」+「睡眠」



詳しくは、別途配付の「冬休みの生活」「保健だより」「学年だより」をご覧ください。